

各中学校卓球部顧問(部長)様

松山地区中学団体卓球対抗戦 審判長 石山将成
(松山卓球協会中学部長)
松山市中体連卓球専門部長 井上 律

令和4年度 松山地区中学団体卓球対抗戦連絡事項
(兼 愛媛県中学団体選抜卓球大会中予地区予選)

- 1 日時 令和5年1月14日(土)
8:00～ 開場(準備及び受付)
8:40～ 監督者会
9:00～ 抽選 → 開会式 → 試合開始(9:30頃)
※ 会場の準備状況により時間が変更される場合があります。
- 2 場所 松山市総合コミュニティセンター
- 3 競技方法
現行の日本卓球ルールに基づいて行います。各チームで、ルールブックをご確認ください。ただし一部については日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを踏まえた対応を行う。
チームは、選手8名以内、監督1名をもって編成するものとします。監督は、出場校の校長・教員(非常勤講師は除く)・部活動指導員とします。部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれません。また、ここでいう部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に示されているものとします。なお、監督の他に、アドバイザーとして、出場校の教職員もしくは当該校の校長の承認を得た外部指導者(外部指導者証が必要)いずれか1名のベンチ入りを認めます。監督、アドバイザーともに、今年度の日本卓球協会への登録を済ませ、「役員証」(ワッペン)を付ける必要があります。「役員証」のない場合、ベンチに入ることはできません。
男女とも8グループでの予選リーグ戦を行います。各グループ1位となった8チームにより、順位決定リーグ戦及び1～4、5～8位決定リーグ戦を行います。なお、1～4、5～8位決定リーグ戦は、順位決定リーグ戦の結果を持ち越すものとします。
マッチ(試合)はすべて11ポイント(点)制の5ゲームズマッチで行い、サービスは2ポイント交代とします。4単1複(ダブルスは3番)のオーダー順に3点先取で勝敗を決定します。
順位の決定はラウンドロビン方式とします。(勝者に2点、敗者に1点の試合得点を与え、試合得点順に順位を決定します。)
- 4 大会使用球について
試合球は(公財)日本卓球協会公認の3スター40mm ホワイトボール(プラスチックボール)とします。本部では、Nittaku 3スタープレミアムクリーンを準備しています。
本部で準備しているもの以外のボールを使用したい場合には、各校で持ち込むことを可とします。ただし、以下の要件を満たすボールとします。
 - (1) 日本卓球協会公認の3スター40mm ホワイトボール(プラスチックボール)であること。
 - (2) 学校名や氏名などが書かれていない(印字されていない)、新球であること。
 - (3) その他、不正な加工などがなされていないこと。使用したいボールが対戦相手と異なる場合、試合前にじゃんけんを行い、勝った選手にボールの選択権が与えられます。
試合の途中にボールが割れたりつぶれたりした場合、同じメーカー、同じ種類のボールと交換して試合を継続するものとします。持ち込まれたボールがマッチ中に割れるなどして使用不能となり、予備がない場合は本部が用意している Nittaku 3スタープレミアムクリーンのボールを使用することとします。
- 5 競技服装について
競技服装は半袖シャツ、ショーツまたはスカートとします。日本卓球協会から交付されている、今年度のゼッケンを背中の中真ん中に着用してください。(全国中学校選抜卓球大会では、チーム全員に2

種類以上の同じ服装が必要です。) 競技服装の主たる色はボールの色と明らかに違う色でなければならないので、白色を基調とするものは着用できません。卓球の公認用具指定業者を除いて、在籍している中学校名以外の文字等がある競技服装は着用できません。外に出すタイプを除いて、半袖シャツはショーツまたはスカートの中に入れて競技してください。

ただし、事情のある場合は、審判長に連絡してください。

6 ラケット・ラバーについて

ルールに適合したラケット・ラバーでマッチに臨むことは選手自身の責任です。ラバーはラケット本体より大きかったり、小さかったり、そして厚かったり、平坦性にかけていたりしてはいけません。また、日本卓球協会が公認していない外国製のラケット本体(「JTAA」の刻印のないもの)を大会で使用する場合は審判長に事前に使用許可を受けてください。

ラバーを張り替える必要が生じたときには、日本卓球協会が公認した接着剤で指定された場所で張り替えてください。その場合、競技の進行に支障をきたさないよう十分に注意してください。

ラバーの確認をしておいてください。ラバーの状態によっては、試合に影響がでると審判長が判断した場合、そのラバーでの試合は認められなくなります。

試合のインターバルの時には、ラケットは台の上に置いてください。

7 プレーの継続性について

マッチ中、プレーは継続されなければなりません。プレーとプレーの間は時間をとらないよう気を付けてください。間合いをとりすぎるとバッドマナーとして扱います。汗を拭くためのタオルの使用は6ポイントごとのチェンジサービスのときに、サービスが1ポイントごとになったときも6ポイントごとに行い、またファイナルゲームでどちらかが5点を取ったときも許可されます。故意の引き延ばしと見られる行動はしないでください。

8 アドバイスについて

選手がアドバイスを受けることができるのは、ゲーム間の1分以内の休憩時間やタイムアウトの要求が認められたとき、そして認められた競技の緊急中断のときだけとします。このとき、選手はプレー領域の3m以内にとどまらなければなりません。マッチ開始直前(2分間)の練習の後にはアドバイスを受けることはできません。また、いかなる場合にも、マッチ中はベンチ外からの声やジェスチャー・サイン等で指示・アドバイスを受けてはいけません。

9 抗議権について

抗議権は「監督」にあります。アドバイザーには抗議権はありません。

不明な点が生じた場合は、試合を中断して審判長に連絡してください。協議のうえ決定します。なお、カウンターをめくって試合を続行した場合、後戻りをしての得点の変更はできません。ただし、事実の判定(セーフかアウトか等)については抗議できません。

10 タイムアウトについて

1マッチに1回、1分以内でタイムアウトを要求することができます。ベンチ入りしているアドバイザーは、複数コートを同時に使用して行う場合のみタイムアウトを要求することができます。

11 促進ルールについて

促進ルールは両方の選手または組からの要請があった場合やゲーム開始後10分経過しても終了しない場合に適用されます。ただし、ゲーム開始後10分を経過しても、両方の選手または組のポイントスコアの合計がすでに18ポイントに達している場合には促進ルールは適用されません。

12 審判について

今大会は、審判は相互審判で行います。若い番号のチームが1番、3番、5番の主審を行います。

13 進行について

各試合の使用台数については、本部からの指示に従ってください。各試合とも3台以上を使用する場合があります。

挨拶は、試合開始前、試合終了後きちんと礼をしてください。

若番のチームが本部に向かって左側（サブアリーナでは、本部側）のベンチを使用してください。

第1ステージ（予選リーグ）では、各チームともオーダー用紙の右側に自分のチームのオーダーを記入し、各コートで交換して試合を行ってください。

第2ステージ（順位決定リーグ）以降では、オーダー用紙は本部へ提出していただきます。氏名（フルネーム）を記入（ペン書きでお願いします。鉛筆書きは不可）してください。ふりがなは読みにくい場合のみ記入してください。提出は本部より連絡された時間に遅れないようにしてください。いったん提出したオーダーは変更できません。

14 サービスについて

2本交代、オープンハンドサービスを厳守してください。

サービスを出す際は、いったん静止し、ボールを明らかに16cm以上、ほぼ垂直に上げ、落下する途中を打ってください。

サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレイングサーフェスよりも高い位置（コートの高さより上方）でかつエンドラインの後方になければなりません。またその間、サーバーまたはパートナーの体の一部または着用している物でボールがレシーバーから隠れない（常にレシーバーに明らかに見える）ように気を付けてください。

今大会は、相互審判で行うため、疑わしいサービスの場合は、本部が認めた場合のみ、警告→失点とします。

15 コロナウイルス感染防止のための対応について

- ・ 大会に関して、参加者は自己責任による参加とする。
- ・ 次に該当する場合は大会への参加を見合わせる。
 - 体調がよくない場合（例 発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
 - 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・ 無観客とする。（選手・引率教員・監督・アドバイザー（協会登録済の者）・役員以外、体育館への入場不可）
 - ・ 役員・顧問は常時マスクを着用する。選手は試合中を除き、マスクを着用する。
 - ・ こまめな手洗い・アルコール消毒を行う。昼食は観客席でとってかまわないが、黙食を徹底する。
 - ・ 他の参加者やスタッフ等との距離を確保し、3密を避ける。観客席での生徒の座り方について、他の生徒と密集しないようにご指導お願いします。
 - ・ 観客席からの応援については、本大会は禁止とする。
 - ・ 体育館ロッカーの使用は禁止する。
 - ・ 入場については、学校毎に時間を指定する。集合場所で密にならないように注意する。
 - ・ お金は当日の朝集金。その際、小銭が少ない状態で、お釣りがないようにお願いします。
 - ・ 会場での公式練習は設けない。空きコートでの練習も認めない。開会式は、マイク放送により行い、選手・顧問は観客席で聞く。
 - ・ 選手間や選手と審判の握手は行わない。またラケット交換は行わず、自身のラケットを相手に見せる形で対応する。
 - ・ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
 - ・ 汗を拭くタオルは袋に入れて台の下に入れる。台の脚の部分にはかけない。

16 その他

- (1) 昼食の時間は特に設けません。各チームで適宜とるようにしてください。
- (2) 第1ステージ（予選リーグ）については、今年度の松山卓球選手権および監督の投票結果等により、専門部を中心とした顧問により、シード校と抽選方法を決定します。
- (3) 本大会の第2ステージ（順位決定リーグ）に進出した男女各8チームが、1月22日（日）に愛媛県武道館にて行われる愛媛県中学選抜団体卓球大会（兼全国・四国選抜予選）への出場権を得るものとします。

(4) 松山市のチームについては、順位決定リーグ戦及び1～4、5～8位決定リーグ戦に進出したチームの中で、(松山市新人大会の優勝および準優勝校を除いたチームの中から) 順位の高いチーム順に、松山市総体の第3・第4シードを決定します。

<卓球専門部からのお願い>

1 体育館使用上の注意

- (1) 屋外用の履き物は、シューズ袋等を用意して各自で管理してください。
- (2) 観客席での飲食は、座席や床を汚さないようにご協力ください。
- (3) 体育館内の通路やロビーで、練習しないでください。
- (4) 喫煙は決められた場所をお願いします。

2 交通・駐車場に関する注意

- (1) 駐車場は有料となります。
- (2) 駐車場内での事故防止にくれぐれもご注意ください。
- (3) 乗降は駐車場内をお願いします。路上での乗降は危険ですので控えてください。

3 競技運営上の注意

- (1) フロアへは、原則大会関係者(選手、監督、アドバイザー、役員)のみ出入りできます。
- (2) フロアでは、原則水分補給以外の飲食は禁止されています。水分補給する場合にも、こぼさないよう十分に気をつけ、こぼれた場合は必ず拭き取ってください。
- (3) 持参した飲食物等のゴミはお持ち帰りください。
- (4) 貴重品は各自・各校で保管し、盗難には十分に注意してください。

4 緊急災害時の動きについて

緊急災害が起きたとき、本部席より放送で指示を出す予定です。慌てずに指示に従ってください。